

鳥取県立美術館に係る検討経緯

年 月	内 容
平成8年7月	教育委員会で「鳥取県立美術館建設の基本的方向」を決定 基本テーマ：ふるさと～未来～はばたき 建設場所：鳥取県立鳥取少年自然の家敷地内（鳥取市桂見）
平成9年9月	教育委員会で「鳥取県立美術館(仮称)基本計画」を決定
平成11年2月	美術館の建築・造成の基本設計を公表
平成11年5月	片山知事が美術館の建設場所再検討を宣言(同年5月県議会) その後、巨費を投じるプロジェクトなのに県民の支持や内容検討が不十分として、運営体制など内容面の再検討を表明(同年12月県議会・翌年3月県議会) ↓ 大規模プロジェクト見直しの一環として整備計画を凍結(H15年8月に鳥取市に「現状では美術館建設は困難」と回答→鳥取市は「美術館通り」整備を休止)
平成25年12月	平成24年度決算審査特別委員会の報告 「博物館の現状や課題を整理し、今後の博物館のあり方について、ゼロベースから検討・議論を始め、県民理解を得た上で、早急に今後のあるべき姿の方向性を決定していくべき。」
平成26年8月 ～27年3月	鳥取県立博物館現状・課題検討委員会 「自然、歴史・民俗、美術の3分野のいずれかのために新たな施設を整備するとともに、現在の建物に残る2つの分野のための施設に改修することを基本として考えるべき。」
平成27年2月	鳥取県立博物館の今後の施設整備のあり方に関するアンケート 50.6%の方が「美術分野のための新たな施設を整備(現在の施設は自然分野と歴史・民俗分野のための施設に改修)」と回答。
平成27年6月	平成27年6月県議会で美術館整備基本構想検討のための予算を承認
平成27年7月 ～	鳥取県美術館整備基本構想検討委員会 美術館を整備する場合における基本的な設置目的・理念、性格や機能、施設設備や規模、立地条件、運営体制等について順を追って議論。(13回開催) 《県民周知の取組》 ■出前説明会……………45回(H27年11月～H28年9月) ■県民フォーラム……………県下3箇所開催(H28年6月～7月) ■美術館キャラバン……………県下19市町村で23回開催(H28年8月～9月)。 ■松保地区住民説明会…平成28年11月10日に実施 《建設場所の検討》 ■市町村からの候補地推薦 一緒になって美術館を核とした地域づくりに取り組んでいただく必要があること、条件に合いそうな場所は市町村の方がよく承知されていること等から、全市町村に推薦依頼 →6市町から12箇所の候補地が推薦(平成28年3月) ■候補地評価等専門委員による評価(委員会を5回開催) →鳥取市桂見を含めて13箇所の候補地を、現地調査の上で評価・審議 ■候補地の絞り込み →専門委員が協議して、鳥取市役所庁舎敷地、鳥取砂丘西側一帯、倉吉市宮ラグビー場、旧鳥取県運転免許試験場跡地の4箇所に絞り込み(平成28年6月) ・平成28年10月 美術館の整備に関する県民意識調査(3,000名) →回答者の7割前後が、これまでの検討内容はおおむね適切であり、(どちらかといえば)美術館の整備は進めていくべきだと回答 ・平成28年11月 基本構想中間とりまとめ ・平成29年1月 美術館の建設場所に関する県民意識調査(5,000名) →候補地評価等専門委員の評価結果をベースに推薦市町の意見を反映し、県議会の意見も盛り込んだ候補地比較資料を添付 →回答率50.8% 4候補地のうち最適と思うのは、倉吉市宮ラグビー場722人(28.5%)、旧鳥取県運転免許試験場跡地643人(25.4%)、鳥取市役所庁舎敷地635人(25.1%)、鳥取砂丘西側一帯465人(18.4%) ・平成29年2月 基本構想とりまとめ
平成29年3月	県教育委員会としての基本構想を決定